

◇ 学校通信 ◇

令和 8 年 2 月号

桶川市立加納中学校

加納中だより

<http://www.okegawakanou-jhed.jp/netc/htdocs/>

《校訓》自主の風

《学校教育目標》

きらめく心、光る汗

生徒数 356名

「一期一会 (いちごいちえ)」 ～ウィンタースクールを終えて～

校長 矢澤 等

1月29日(木)から2泊3日で、菅平高原にて1学年のウィンタースクールが行われました。3日間の行程を予定通りこなし、参加者全員で帰校することができました。初日は途中で吹雪く場面もあり、寒さや足の痛さなどから、気持ちの面でくじけそうになる生徒もいましたが、最終日には、講習に参加した全ての生徒がリフトに乗って、快晴の斜面を滑り降りることができました。バスでの移動やホテルでの生活、期間中に行われた学年レクなどでも、生徒一人一人の成長を見ることができました。実施に当たりお世話になりました関係各位に厚く御礼を申し上げます。



「一期一会」とは、「一生に一度の出会いと思って客人をもてなす」という茶道の言葉です。スキー・スノーボードの講習では、インストラクターの皆さんが、本校の生徒一人一人の様子を理解していただき、その子に応じた声かけやアドバイスをしてくださいました。3日目に、どの班も笑顔でシュプールを描くことができたのは、粘り強くご指導いただいたお陰であると感謝しております。また、ホテル内では、従業員や旅行者の皆様が、真心を込めた「おもてなし」をしてくださいました。特に、直接交流のあった食事の場面では、常に目配りや気配りをしながら、温かい言葉かけをいただきました。安心して過ごすことができたことに、重ねて感謝申し上げます。

6月に京都・奈良方面で行われました3学年の修学旅行でも、ホテルの方やバスガイドの方、見学先でお会いした皆様から、素敵なお心遣いをいただきました。まさに、「一期一会」という言葉を、身に染みて実感することができるのが、こうした校外行事の魅力の一つです。多くの生徒が、初めて出会った現地の方々の優しさや思いやりに触れ、感謝の気持ちを抱きます。そのありがたさを知って、短期間で大人へと近づいていきます。

学校や親元を離れての校外行事は、生徒たちにとっても不安や動揺があることでしょう。お預かりする我々教職員も、細心の注意を払って引率をいたします。そうした中で、現地で出会う皆様からいただく誠心誠意のご対応によって、緊張感が和らぎ、充実した教育活動へとつながっていくのです。1月に東京方面で実施された2学年の校外学習でも、同様の経験があったことと思います。その経験を生かし、今度は本校の生徒が「一期一会」の精神を様々な場面で発揮してくれることを期待しています。